

寒暖差が激しくなり、寒暖差疲労で体調を崩しやすい季節となりました。軽い運動や入浴、暖かい飲み物を飲むなど、内側から体を温めることが効果的だそうです。今年もあと二ヶ月！体調管理には気をつけて過ごしましょう。今月の『図書館でめぐる郷土～八尾市史編～』のテーマは「高安千塚古墳群」です。全国的にも珍しい造りの高安千塚古墳群、その造りと遺跡の歴史に迫りましょう。

シリーズ
図書館でめぐる郷土
～八尾市史編～

第四十三回

たかやすせんづかこふんぐん 『高安千塚古墳群』

高安千塚古墳群は、生駒山地の高安山の麓に立地する円墳が主体の大形群集墳です。その埋葬主体のほとんどが横穴式石室で、4世紀後半(約1600年前)頃に朝鮮半島から伝わってきた埋葬施設です。主に6世紀頃の古墳に見られ、石を積み上げて、玄室(棺を納める場所)と羨道(通路)を設けています。大正時代には500基以上あったとされていますが、現在は230基が確認されており、そのうち110基が平成27年3月10日に国史跡に指定されました。北から大窪・山畑支群、服部川支群、郡川北支群、郡川南支群に分かれており、服部川支群は最も古墳が集中しています。古くは安土桃山時代の古文書に「千塚」と記され、江戸時代には観光ガイドブックのはしりとされている『河内名所図会』にも描かれました。

古墳群は6世紀前半に造墓が開始され、6世紀後葉から末に爆発的に造墓が拡大します。この時代は百濟からの仏教伝来をはじめ、朝鮮半島や大陸から新しい文化、政治制度が伝わり、聖徳太子や蘇我氏、物部氏が歴史上に登場したころです。しかし、7世紀代に入るとなんらかの理由で力を失ったと考えられ、造墓は急速に終焉を迎えます。造墓当初は、釵子(かんざし)やミニチュア炊飯具などの渡来系の副葬品が多く、渡来系集団による造墓ではないかと考えられている一方で、盛行期の6世紀後半にはこの特徴は見られなくなり、大和に準ずる規模と構造の石室が多く造られるようになります。葬られた人々については、古墳群の眼下に広がる中河内の平野部を拠点とした渡来の人々を核とし、次第に在地化して畿内政権の有力氏族だった物部氏と深いつながりを持つに至った渡来系集団ではないか、と考えられています。今後の調査が待たれます。

また、高安千塚古墳群には全国的にも珍しい石室があります。服部川支郡の中央付近にある二室塚古墳(服部川25号墳)は、ほぼ同じ大きさの玄室を二つ重ねた二室構造で造られており、これは全国的にも類例のない独自構造です。明治時代には、近代日本考古学の出発点となった大森貝塚の発見で知られる米国博物学者のエドワード・シルベスター・モース氏や、「日本考古学の父」といわれる英国人研究者のウィリアム・ガウランド氏など錚々たる外国人研究者が調査を行っていました。ガウランド氏が撮影し、「双室ドルメン」として海外に紹介されたガラス乾板写真は、大英博物館にガウランド・コレクションとして所蔵されています。

高安千塚古墳群は、古代史を考える上で重要な遺跡であり、海外にも紹介された貴重な学史を持つなど、群集墳の代表例となる遺跡なのです。

【写真】高安千塚古墳群 二室塚古墳 双室
八尾市観光データベースより



参考資料

『新版八尾市史 考古編1』2017年12月 八尾市史編纂委員会/編 『新版八尾市史 通史編1』2023年3月 八尾市史編纂委員会/編
『河内平野をのぞむ大型群集墳 高安千塚古墳群』2019年10月 吉田野乃・藤井淳弘/著 新潮社/発行
『国史跡高安千塚古墳群 散策マップ』2021年3月 八尾市教育委員会文化財課/編・発行
八尾市 HP 国指定史跡 高安千塚古墳群 <https://www.city.yao.osaka.jp/0000046996.html> (確認日 2024年10月28日)

11月のTopics & Information



-Topics



電子図書館新刊案内

『アナウンサーが知っている最強の居場所の作り方』



アナウンサーが知っている最強の居場所

黒部 亜希子 著

★内容紹介★

我慢せずに自分を表現して、伝わり方も印象もレベルアップ! テレビ大阪の元アナウンス部長・黒部亜希子が、アナウンサーならではの気づきに満ちたコミュニケーションスキルを余すことなく具体的に伝える。

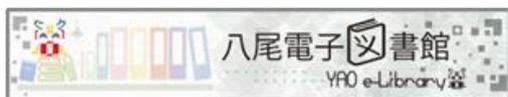
【出典: TRCMARC より】

※内容紹介の文章は、印刷本の情報を記載している場合があります。



(予約数: 1人)

八尾電子図書館は、八尾市在住・在勤・在学で八尾市立図書館のカードをお持ちの方はどなたでもお使いいただけます。貸出は1人3点、貸出期間は2週間までです。是非、ご利用ください。



【電子図書館 URL】

<https://www.d-library.jp/yao/g0101/top/>

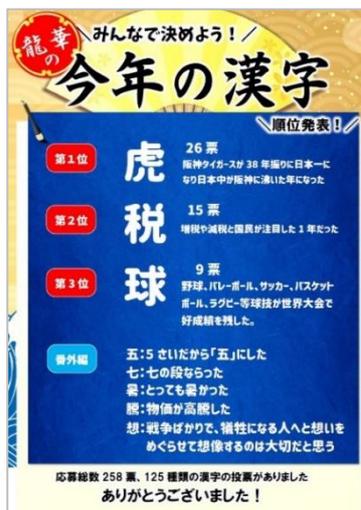
-Information イベントのご案内

みんなで決めよう! 龍華の今年の漢字

今年の世相を表す漢字一字をご応募ください!

- 募集期間…2024年11月1日(金)~27日(水)
8:30~22:00(龍華コミセン開館中)
※図書館休館日も応募できます。
- 場所…龍華コミセン1階エントランス
専用の応募箱を設置します。

最も投票数の多かった漢字を「龍華の今年の漢字」として、12月に八尾高校書道部による書道パフォーマンスで発表します。



昨年の「龍華の今年の漢字」1位が
らう位まではロキリア!
今年はどうな文字が選ばれるので
しょうか?

【画像】2023年の今年の漢字発表ポスター

今月の一冊はコレ!



「線は、僕を描く」

(資料コード: 710655093)

著: 砥上裕將 / 出版者: 講談社

両親を亡くし、深い喪失感を抱えて生活している大学生の霜介は、バイトで訪れた展示会の会場で水墨画の巨匠、篠田湖山に気に入られ「内弟子にする」宣言をされてしまいます。未知の世界に足を踏み入れた霜介は水墨画を通してのちを描くことに夢中になり、自身の心も少しずつ再生させていくのでした。一つの道を極めようとする人々のひたむきさに心打たれ、静かな感動を呼ぶ作品です。是非、お手に取ってみてください。

【表紙画像】出版書誌データベースより

編集・発行

八尾市立龍華図書館 指定管理者 株式会社図書館流通センター

〒581-0056 大阪府八尾市南太子堂 2-1-45
TEL 072-922-8007 FAX 072-922-7057
ホームページ <https://yao-ryugelib.jp/>

Facebook

情報発信をしていますので、
いいね! してください。

